

本時の目標

- 「五月」と「十二月」を対比して、想像豊かに描いたスケッチをもとに、作品に描かれている情景について発表することができる。
- 友達の発表を聞きながら、「五月」と「十二月」に描かれている情景をたしかめ合うことができる。

評価目標・評価方法	評 価 基 準			フィードバック
	(+)	(0)	(-)	
	<p>スケッチをした情景をもとに、効果的な話し合いができるよう工夫しようとしている。</p> <p>◦ 発表者になかった情景をチェックして話している。</p> <p>◦ スケッチした情景の根拠となる言葉を用いて話している。</p> <p>◦ 情景のもとになる光などの対比の要素をOHPと見比べている。</p> <p>◦ 友だちの発表をよく聞き、自分のスケッチと比較している。</p> <p>◦ 自分で気づかなかった情景をチェックしている。</p> <p>◦ 友だちの発表に対してハンド・サインで自分の意志表示をしている。</p> <p>◦ 友だちの発表に対して、うなずく、否定する、首をかしげるなどの反応を示している。</p>	<p>スケッチした情景をもとに話し合いに参加しようとしている。</p> <p>◦ 発表者やOHPと同じ情景を話している。</p> <p>◦ 友だちのスケッチした情景をのぞきながら話している。</p> <p>◦ 友だちの発表にハンド・サインによる同意の意志表示のみをし、自分から進んで発言しない。</p>	<p>スケッチした情景を活用しようとせず、また話し合いに参加しようとしないう。</p> <p>◦ スケッチした情景とまったく関係ない話をしている。</p> <p>◦ 友だちの発言に対して、ハンド・サインによる意志表示をしない。</p>	<p>◦ スケッチした情景の根拠となる光・色・音などの言葉の表現をたしかめさせる。</p> <p>◦ 「五月」と「十二月」の情景が対比されていることをたしかめさせる。</p> <p>◦ マイナス・チェックした児童に対しては、本人の描いたスケッチのいいところを指摘してやり、発表を促す。</p>
<p>(1) 自分でスケッチした情景をもとに話し合いに参加しようとする。</p> <p>観察法 スケッチした情景を活用しようとせず、まな話し合いに参加しようとする児童をマイナス・チェックする。</p>	<p>発表学習でとらえた情景と自分のスケッチを対比しながら、効果的につけ加えたり修正したりしようとしている。</p> <p>◦ ふくらんだイメージをもとにして、OHPの情景と見比べながら、つけ加えたり修正したりしている。</p> <p>◦ 光・色などの対比の要素を一つ一つたしかめながら、つけ加えたり、修正したりしている。</p> <p>◦ 情景の根拠となる表現を教科書のことばで確認している。</p> <p>◦ 絵で十分表現できないところは、ことばで補っている。</p> <p>◦ 教科書のさし絵の抽象的な情景を自分のスケッチに生かそうとしている。</p> <p>◦ なかなか理解できない点については、挙手して教師の指導を受けようとしている。</p>	<p>発表学習でとらえた情景を見ながら、見直しをしようとしている。</p> <p>◦ 友だちのスケッチを見てまねている。</p> <p>◦ OHPの情景をそのまま転写している。</p> <p>◦ 色彩について考えている様子が見られない。</p>	<p>自分でスケッチした情景をそのままにしている。</p> <p>◦ 発表学習でとらえた情景をできるだけつけ加えるように助言してやる。</p> <p>◦ 色・光などの対比の要素をたしかめられることを具体的にやらせてみる。</p> <p>◦ 自分でスケッチした情景をそのままにしている児童に対しては、本人のとらえたイメージを尊重し、励ましてやる。</p>	
<p>(2) 発表学習でとらえた情景と自分のスケッチを対比しながら見直すとする。</p> <p>観察法 自分のスケッチした情景をそのままにしている児童をマイナス・チェックする。</p> <p>(3) 本時の授業をふり返って授業全体への取り組み状況を反省する。</p> <p>自己評価法 (多肢選択法) (記述法)</p>	<p style="text-align: center;">反 省 カ ー ド</p> <p>11月19日 6年2組()番 氏名()</p> <p>ア 今日の授業はよくわかりましたか。 1. よくわかった 2. だいたいわかった 3. わからなかった</p> <p>イ 今日の授業にしんげんにとりくみましたか。 1. とりくんだ 2. だいたいとりくんだ 3. とりくまなかった</p> <p>ウ 発表は活発にできましたか。 1. 活発にできた 2. だいたいできた 3. 活発にできなかった</p> <p>エ 他人が発表している時、それをよく聞きましたか。 1. よく聞いた 2. だいたい聞いた 3. 聞かなかった</p> <p>オ 自分のスケッチに、つけ加えたりなおしたりできましたか。 1. できた 2. だいたいできた 3. できなかった</p> <p>カ 今日の授業で感じたことをかんとんに書きなさい。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>			<p>◦ 教師の観察と自己評価を合わせて評価する。</p> <p>◦ 次時以後の指導に生かす。</p> <p>◦ アーオの項目の3がでた場合は個別指導をする。</p>